

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2005-318105 (P2005-318105A)
 【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-044
 【出願番号】特願 2004-131820 (P2004-131820)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/387 (2006.01)
B 4 1 J 21/00 (2006.01)
G 0 6 F 3/12 (2006.01)
G 0 6 T 3/00 (2006.01)
B 4 1 J 3/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/387
 B 4 1 J 21/00 Z
 G 0 6 F 3/12 V
 G 0 6 T 3/00 3 0 0
 B 4 1 J 3/00 S

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

文書を構成するページデータを一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトして、当該文書の印刷体裁を設定する文書処理装置であって、

文書の印刷体裁として、一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトし、印刷後に記録媒体を裁断して最終的な印刷物を得る多連印刷が設定されているかを判断する印刷体裁判断手段と、

前記文書に設定されている属性情報を取得する取得手段と、

前記印刷体裁判断手段により多連印刷が設定されていると判断された場合に、前記取得手段により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページのサイズを判定し、当該文書が異なるページサイズのページデータより構成されているか否かを判定するページサイズ判定手段と、

前記ページサイズ判定手段の判定結果に従い、前記文書中に異なるページサイズのページデータが含まれる場合、当該ページサイズ毎に、当該ページデータのレイアウトを制御するレイアウト制御手段と

を備えることを特徴とする文書処理装置。

【請求項 2】

前記レイアウト制御手段は、前記ページサイズに応じて、前記ページデータをレイアウトするための記録媒体のサイズを設定することを特徴とする請求項 1 に記載の文書処理装置。

【請求項 3】

前記レイアウト制御手段は、前記ページデータをレイアウトするための記録媒体を設定

するために、指定された記録媒体のサイズ、または、前記ページサイズ判定手段で判定されたページサイズのうち、いずれか 1つを選択的に使用して、当該記録媒体を設定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の文書処理装置。

【請求項 4】

前記レイアウト制御手段は、前記文書を構成する、第 1 のページサイズに対応するレイアウト結果と第 2 のページサイズに対応するレイアウト結果とを、出力手段に区別して出力させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1項に記載の文書処理装置。

【請求項 5】

前記レイアウト制御手段は、前記第 2 のページサイズに対応するレイアウト結果を挿入するページを識別するために、前記第 1 のページサイズと同じサイズの合紙の設定を行い、前記第 1 のページサイズに対応するレイアウト結果と、当該合紙とを組み合わせる前記出力手段に出力させることを特徴とする請求項 1 に記載の文書処理装置。

【請求項 6】

前記レイアウト制御手段は、前記文書に含まれる最大のページサイズに基づいて、当該最大のページサイズより小さいページサイズのページデータに対しては、前記一の記録媒体上に複数ページ分をレイアウトし、

当該最大のページサイズと等しいページサイズのページデータに対しては、当該記録媒体上に当該ページデータのみをレイアウトすることを特徴とする請求項 1 に記載の文書処理装置。

【請求項 7】

前記ページサイズ判定手段は、前記取得手段により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページが、両面原稿であるか否かを判定し、

前記レイアウト制御手段は、前記ページサイズ判定手段の判定結果に基づき、前記両面原稿に対しては、設定された記録媒体の表面及び裏面にそれぞれ異なるページデータを複数ページ分レイアウトし、

片面原稿に対しては、当該記録媒体の表面のみにページデータを複数ページ分レイアウトし、裏面を空白にすることを特徴とする請求項 1 に記載の文書処理装置。

【請求項 8】

前記レイアウト制御手段は、前記一の記録媒体上に同一のページデータを複数ページ分レイアウトすることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1項に記載の文書処理装置。

【請求項 9】

前記ページサイズ判定手段は、前記取得手段により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページが、両面原稿であるか否か、及び当該属性情報に基づいて前記文書を構成する総ページ数を判定し、

前記レイアウト制御手段は、前記両面原稿に対しては、記録媒体表面側の左半分または右半分、当該記録媒体裏面側の左半分または右半分の領域にそれぞれ異なるページデータをレイアウトし、

片面原稿の場合には、当該記録媒体表面側の左半分または右半分にそれぞれ異なるページデータをレイアウトし、当該記録媒体裏面側の左半分または右半部分を空白にすることを特徴とする請求項 1 に記載の文書処理装置。

【請求項 10】

前記レイアウト制御手段は、前記記録媒体裏面側の左半分及び右半分が空白となる場合、当該記録媒体の印刷処理を片面印刷に設定することを特徴とする請求項 1 または 9 に記載の文書処理装置。

【請求項 11】

文書を構成するページデータを一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトして、当該文書の印刷体裁を設定する文書処理装置における文書処理方法であって、

印刷体裁判断手段が、文書の印刷体裁として、一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトし、印刷後に記録媒体を裁断して最終的な印刷物を得る多連印刷が設定されているかを判断する印刷体裁判断工程と、

取得手段が、前記文書に設定されている属性情報を取得する取得工程と、

ページサイズ判定手段が、前記印刷体裁判断工程により多連印刷が設定されていると判断された場合に、前記取得工程により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページのサイズを判定し、当該文書が異なるページサイズのページデータより構成されているか否かを判定するページサイズ判定工程と、

レイアウト制御手段が、前記ページサイズ判定工程の判定結果に従い、前記文書中に異なるページサイズのページデータが含まれる場合、当該ページサイズ毎に、当該ページデータのレイアウトを制御するレイアウト制御工程と
を備えることを特徴とする文書処理方法。

【請求項 1 2】

文書を構成するページデータを一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトして、当該文書の印刷体裁を設定する文書処理方法をコンピュータに実行させる文書処理プログラムであって、

文書の印刷体裁として、一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトし、印刷後に記録媒体を裁断して最終的な印刷物を得る多連印刷が設定されているかを判断する印刷体裁判断工程と、

前記文書に設定されている属性情報を取得する取得工程と、

前記印刷体裁判断工程により多連印刷が設定されていると判断された場合に、前記取得工程により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページのサイズを判定し、当該文書が異なるページサイズのページデータより構成されているか否かを判定するページサイズ判定工程と、

前記ページサイズ判定工程の判定結果に従い、前記文書中に異なるページサイズのページデータが含まれる場合、当該ページサイズ毎に、当該ページデータのレイアウトを制御するレイアウト制御工程と

をコンピュータに実行させることを特徴とする文書処理プログラム。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の文書処理プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ可読の記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

あるいは、上記課題を解決する、文書を構成するページデータを一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトして、当該文書の印刷体裁を設定する文書処理装置における文書処理方法は、

印刷体裁判断手段が、文書の印刷体裁として、一の記録媒体上に複数ページ分レイアウトし、印刷後に記録媒体を裁断して最終的な印刷物を得る多連印刷が設定されているかを判断する印刷体裁判断工程と、

取得手段が、前記文書に設定されている属性情報を取得する取得工程と、

ページサイズ判定手段が、前記印刷体裁判断工程により多連印刷が設定されていると判断された場合に、前記取得工程により取得した属性情報に基づいて前記文書を構成する各ページのサイズを判定し、当該文書が異なるページサイズのページデータより構成されているか否かを判定するページサイズ判定工程と、

レイアウト制御手段が、前記ページサイズ判定工程の判定結果に従い、前記文書中に異なるページサイズのページデータが含まれる場合、当該ページサイズ毎に、当該ページデータのレイアウトを制御するレイアウト制御工程と

を備えることを特徴とする。